

令和 4年 1月14日

保護者の皆様へ

大宜味村立大宜味小学校 公印
校長 新垣 郁代 省略

【重要】新型コロナウイルス感染拡大防止について

(児童・職員に感染者が出た場合の学校の対応について)

晩冬の候、保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、ご存知のとおり本件の新型コロナウイルス感染急拡大により、学校の休校が相次いでおります。また、保健所業務の逼迫により、家庭内感染等における濃厚接触者の特定にも遅れが生じております。
つきましては、県教育委員会方針を受け村教育委員会と協議した結果、今後、本校において感染者が確認された場合には以下の対応を行いますので、保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

記

◎発熱等の風邪症状で学校を休んだ場合の登校復帰について

発熱等の強い症状がある場合は、病院を受診し医師の指示にしたがってください。病院受診ができない場合は、発熱等の症状が落ち着いてから 72 時間(3日間)は休養し体調を整えて登校してください。

1 感染者と濃厚接触した児童の出席等の取扱いについて

- 保健所から特定された場合は、その期間を出席停止期間とします。
- 保健所から特定されていない場合は、「感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から起算して2週間」の出席停止期間とします。

2 学校で感染が確認された場合の対応について

【学級閉鎖及び学校閉鎖について】

- 感染者が感染可能期間に登校していた場合は、「感染者の最終接触日(登校日)の翌日から5日間の学級閉鎖(学校閉鎖)」とする。
- 解除については、最終日の午後に対象者の健康状態を確認し、村教育委員会と協議し判断する。

【児童の登校・職員の出勤について】

- 児童は、感染者との最終接触日の翌日から5日間経過し、発熱等の風邪症状がなければ登校可能。
- 教職員は、感染者との最終接触日の翌日から72時間経過後に、発熱等の風邪症状がなければ出勤可能とする。

3 学校 PCR 検査等の実施について(※学校内で感染者と接触があった場合)

【濃厚接触者で発熱等の症状がある場合】

- これまで通りに、医療機関を受診し、PCR 検査等の検査を各自で行う。

【濃厚接触者で無症状の場合】

- 学校 PCR 検査の実施。ただし、現在、非常に込み合い時間がかかる場合がある。
また、他機関を利用して PCR 検査を実施してもよい。(結果は学校に連絡する。)

【濃厚接触者には当てはまらない接触者】

- 学校 PCR 検査の実施はなし。(最終接触日から5日間、自宅にて体調管理を行う。)

裏面も確認

確認資料(感染者や濃厚接触者、学級閉鎖期間等の定義)

1 「感染者の感染可能期間」とは

- 発症の2日前から感染者が入院・宿泊療養・自宅療養を開始するまでの期間。
- 無症状の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前から感染者が入院・宿泊療養・自宅療養を開始するまでの期間。

2 「濃厚接触者の候補者」とは

- 感染者と同居または長時間接触があった者。
 - 適切な感染防護なしに感染者を介護していた者。
 - 感染者の飛沫(くしゃみ・咳・つば等)に直接触れた可能性の高い者。
- ※1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合がある。
- 手で触れることのできる距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なしで、感染者と15分以上の接触があった者。(例えば感染者と会話していた者)
- ※マスクを着用していたが、いわゆる鼻だしマスク・あごマスク等、マスクの着用が不適切な場合は、必要な感染予防対策が十分できていなかったと判断される場合もある。

3 「学級閉鎖(学校閉鎖)は5日間」ですか

- 感染者が「感染可能期間」に登校して、接触があったかが目安になります。
- ※金曜日に感染が判明した場合は、土・日は学校が休みなので、週明けの月曜日から水曜日までの3日間が学級閉鎖になります。
- 感染者の判明が午前中で分かった場合は、午後から、臨時休校にする場合もあります。

4 「学級閉鎖の基準」はありますか

- ※県内に「まん延防止等重点措置」が適用され、医療機関やPCR検査等がひっ迫している状況のため、感染者が1名でも判明した時点で、学級閉鎖の検討を行います。
- 学級内で感染が広がっている可能性が高い場合、学級閉鎖を実施する。
 - 1学年だけの閉鎖ではなく、状況によっては、学校全体を閉鎖する場合があります。(職員が感染した場合も同様の対応)
 - 複数の濃厚接触者が存在して、体調不良者が増加した場合にも、学級閉鎖を行う場合があります。

【保護者のみなさまへ】感染者が判明しても、感染防止対策を徹底していれば濃厚接触者に特定される児童を一人も出さないようにすることができます。学校内において、マスクの着用・手洗い・手指の消毒の実施、三密を回避するために(換気の徹底)などを継続して実施していきます。

まずは、体調不良者や同居家族に体調不良者がいる場合は、無理に登校せずに、体調が落ち着き十分休養してから、登校させるように、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。